(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 13 日

佐賀県知事 山口 祥義 殿

提出者

住 所 佐賀県神埼市神埼町尾崎2074-3

氏 名 園田建設株式会社

代表取締役 園田 幸男

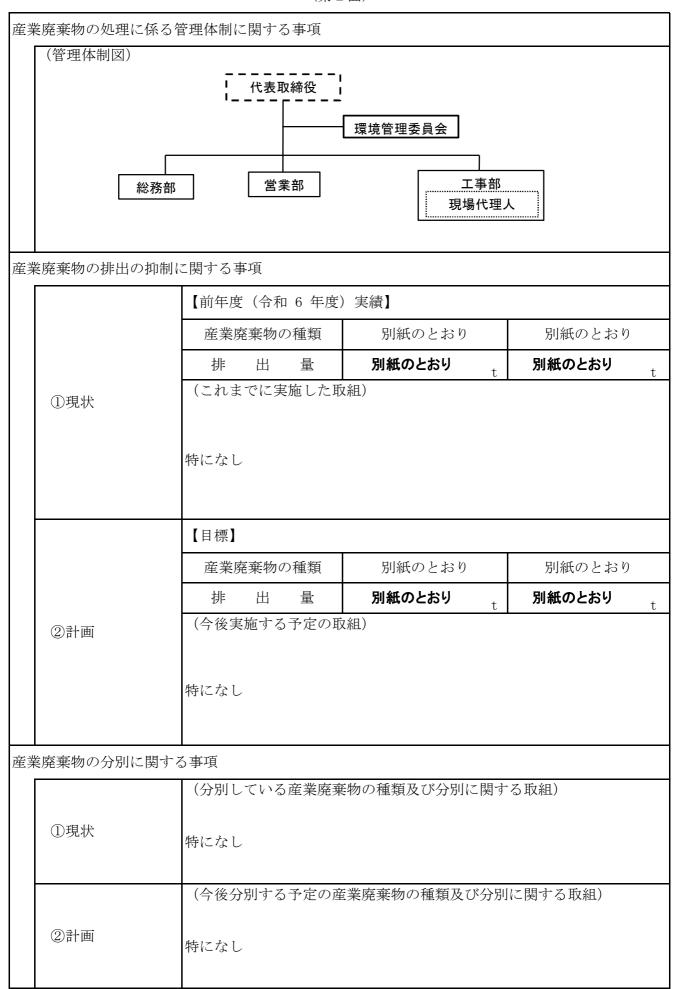
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0952-53-4764

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	事業場の名称	園田建設株式会社							
事	耳業場の所在地	佐賀県神埼市神埼町尾崎2074-3							
前口	十 画 期 間	令和7年4月1日~令和8年3月31日							
当該	亥事業場において現に?	丁っている事業に関する事項							
	①事業の種類	06 総合建設業							
	②事業の規模	¥400,056 (千円)							
	③従業員数	14人							
	④産業廃棄物の一連の 型 理 の 工 程								

(日本工業規格 A列4番)



	【前年度(令和 6 年度)	実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり		
() TH. (1)	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000		
①現状	(これまでに実施した取組	E)			
	特になし				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり		
्री कां	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000		
②計画	(今後実施する予定の取組	且)			
	特になし				
I ら行う産業廃棄物	 nの中間処理に関する事項				
	【前年度(令和 6 年度)	実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり			
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000		
①現状	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000		
	(これまでに実施した取組	E)			
	特になし				
	【目標】	T			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000		
②計画	自ら中間処理により減量す る 産 業 廃 棄 物 の 量	0.000 t	0.000		
	(今後実施する予定の取組	且)			

	【前年度(令和 6 年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000
	(これまでに実施した取締 特になし	組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0.000	0.000
廃棄物の処理の	委託に関する事項		
廃棄物の処理の	【前年度(令和 6 年度)	_	
廃棄物の処理の	【前年度(令和6年度) 産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
廃棄物の処理の	【前年度(令和6年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量	別紙のとおり 別紙のとおり t	別紙のとおり
廃棄物の処理の	【前年度(令和6年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり	
廃棄物の処理の	【前年度(令和6年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	別紙のとおり 別紙のとおり t	別紙のとおり
廃棄物の処理の ①現状	【前年度(令和6年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への	別紙のとおり 別紙のとおり 別紙のとおり t	別紙のとおり
	【前年度(令和6年度) 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への 処理委託量 再生利用業者への 処理委託量 認定熱回収業者への	別紙のとおり t 別紙のとおり t 別紙のとおり t 別紙のとおり t 別紙のとおり t 別紙のとおり t	別紙のとおり

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙のとおり	別紙のとおり
		全処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
	②計画	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり t	別紙のとおり t
		(今後実施する予定の取		t
		特になし		
※ 事	罫務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
- (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第2面)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																			
	【前年度(令和 6 年度)実績】																		
①現状	産業廃	乗物の	種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥												
	排	出	量	2060.334 t	112.110 t	4.040 t	3.195 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t
	【目標】																		
②計画	産業廃棄	棄物の	種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥												
	排	出	量	1500.000 t	100.000 t	3.000 t	3.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t

(第3面)

自ら行う層	自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項															
	【前年度(令和 6 年度)実績】															
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥											
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	【目標】															
②計画	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥											
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
自ら行う西	産業廃棄物の中間処理に関	関する事項														
	【前年度(令和 6 年度)実績】															
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥											
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	【目標】															
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラスチック類	汚泥											
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0.000 t	0.000 t	0.000 t	0.000 t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t	t t

様式第二号の八(第八条の四の五関係別紙)

(第4・5面)

	VIV = - 1447												
自ら行う原	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項												
	【前年度(令和 6 年度)実績】												
(1) well it is	産業廃棄物の種類 がれき類 木くず 廃プラスチック類	汚泥											
①現状	目ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った												
	産業廃業物の量 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t	0.000 t t t	t t t t	t t t t t	t t								
	産業廃棄物の種類 がれき類 木くず 廃プラスチック類	汚泥											
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量 0.000 t 0.000 t 0.000 t	0.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
産業廃棄物	物の処理の委託に関する事項	·			•								
	【前年度(令和 6 年度)実績】												
	産業廃棄物の種類 がれき類 木くず 廃プラスチック類	汚泥											
	全処理委託量 2060.334 t 112.110 t 4.040 t	3.195 t t t	t t t	t t t t	t t								
	優良認定処理業者への 処理委託量 0.000 t 0.000 t 0.000 t	3.195 t t t	t t t	t t t t	+ +								
①現状		0.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
	認定熱回収業者への 処理委託量 0,000 t 0,000 t 0,000 t	0.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への か、理、秀、芸、具												
	^{元 任 安 礼 里 0.000 t 0.000 t 0.000 t 0.000 t}	0.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
	産業廃棄物の種類 がれき類 木くず 廃ブラスチック類	汚泥											
	全処理委託量 1500,000 t 100,000 t 3,000 t	3.000 t t t	t + +	t t t + +	t +								
	優良認定処理業者への 処理 委託 量 500,000 t 50,000 t 2,000 t	3.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
②計画		0.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
	認定熱回収業者への 処理委託量 0.000 t 0.000 t 0.000 t	0.000 t t t	t t t	t t t t t	t t								
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量 0,000 t 0,000 t 0,000 t	0.000 t t t	t t t	+ + + + +	+ +								
Ц	0.000 0.000	5,555 6		-1 -1 -1 -1	٠,								